

25-7 経営協議会議事概要

日 時 平成26年1月27日(月) 15:00~16:50

委 員 内田学長(議長)

志田, 銭谷, 高木, 西岡, 宮池, 村本, 安田, 渡辺
朴, 堀, 鈴木

列席者 後藤, 山本, 江原, 児玉 各副学長, 武田参与, 橋本, 田島 各監事

◎議事概要の確認

学長より, 25-5, 25-6の議事概要については, 事前に意見集約を行った結果, 特段の意見は無かったことから, 資料のとおり, 経営協議会議事概要として記録にとどめる旨の説明があり, 了承された。

I 協議事項

1. 外国人留学生宿舍の建設について

後藤副学長より, 「資料1」に基づき説明の後, 学長から補足説明があり, 審議の結果, 原案どおり承認された。

◇主な意見など(○=外部委員, ●=大学側)

○宗教や文化, とりわけ稼働率を考慮すると1R(ワンルーム)を増やす方が良いのではないか。

●国際交流の場としての教育的配慮, アンケート結果(ニーズ)を考慮した。但し, 将来, シェアタイプから1Rへの改修も安価にできる構造である。

○三重大学の留学生受入目標400名は, グローバリゼーションを踏まえた数値であるか。

●留学生30万人計画を受け, 三重大学の考えの中に組み込まれている。

○地域との関係の中で, 学内と学外についてどう考えるか。

●留学生の受入には, 地域との交流, 地域の国際化と絡めて考えるべきであるが, 当宿舍は初年次の慣れない留学生を対象に考えており, 2年次以降は地域のアパートに入ることも阻害しない。地域のホームステイも活用している。

○留学生のニーズ, 留学生に魅力のあるプログラムをどのように考えているか。

●留学生の受入支援には, 教学支援と生活支援の2本柱がある。

教学支援には, FDによる教員の能力向上, 英語の授業を増やす, 受入先の地域ニーズに合った学問領域の強化など, 魅力ある教育プログラム強化に取り組んでいる。生活支援では, 留学生宿舍が大きな問題である。ニーズとしては, 「①安価な宿舍料, ②交流意欲が強い留学生はシェアタイプを希望」であった。

○入札不調等工事計画の見通しはどうか。

●大型事業では入札参加者が少なく不調となる場合もあるが、当規模であれば地元業者も多数参加できるので、円滑な工事の着工を見込んでいる。

2. 中期計画の変更について

朴理事より、「資料2-1, 2-2」に基づき、「社会連携研究センター改組」「教育学部入学定員改訂」に伴う中期計画変更の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

◇主な意見など

○なぜ、教育学部の教員養成定員を増やすのか。

●社会情勢、今後の人口動態、教員採用需要等を勘案した結果、本学では質の高い教員の養成に特化することが必要と判断した。

○教育実習の負担が増えるが、見通しはどうか。

●附属学校のほか関係自治体に受入を依頼する予定である。

II 報告事項

1. 平成26年度概算要求事項等について

鈴木理事より、「資料3」に基づき説明があった。

2. その他

① 次回の開催について

平成26年3月17日（月）15:00から開催することを確認した。

② 平成26年度経営協議会の日程について

「資料4」に基づき、開催日時を確認した。

III 意見交換

1. 学長選考のあり方について

学長より、学長選考のあり方について意見交換を行いたい旨発言の後、意見交換を行った。

◇主な意見など

○役員から候補者を選ぶべきである。

○リーダーシップのある方を学長選考会議で選ぶべきである。

○現学長が選考会議に入っていれば、意向投票が無くても良い。

○法人化後、意向投票は過渡的な状況である。学長選考会議がどこまで候補者を絞り込むのかを検討すべきである。選考会議が先ず候補者（学内外含め複数または1人）を決めてから、最適者の意向投票をする方法が良いのではないか。

以 上